

キャンピングカーで遊ぶ



6 2026
月号
Since 1991

AUTO AMPER

オートキャンパー

キャンピングカーライフを応援する月刊誌

令和8年5月15日発行(毎月1回15日発行) 平成3年8月2日第三種郵便物認可 第36巻 第6号 通巻435号

軽キャンパー



遊び方 選び方。

2026モデル 完全ガイド



PLUS! 当世、キャンピングカーの
冷房事情

令和8年5月15日発行(毎月1回15日発行)
平成33年6月22日 第三種郵便物認可
発行所 ● 八重洲出版 発行 ● 西井雄雄 編集人 ● 山田直人
本社 ● 東京都中央区八丁4-5-9 03-3552-9431(代)



2026
6 当世、キャンピングカーの冷房事情

ERGOSTER

Tough leather Black

エッジが効いたショルダーデザインが特徴の、
コンパクト性と快適性を兼ね備えたリクライニングシート。



BRIDE SPORT & RELAXING SEAT
BRIDE CO., LTD.

ブリッド株式会社 BRIDE 社は、
ブリッド株式会社の登録商標です。
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
電話:(052)689-2611 ファクス:(052)689-2612

※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

ブリッド&エディルプの最新情報は、こちら!

<https://brideseats.com>



定価1000円

本体909円 ⑩ 次号発売まで

©八重洲出版2026
Printed in Japan

雑誌コード12237-6



4912122370663

00909

理想のS字ラインを
自然に保てる
シート設計

「ブリッドシートはS字をきれいに描けるように作られていて、肩から骨盤まで全体をサポートしてくれます」と、カイロプラクター目線で評価する西尾さん。写真はメディカルコンフォートモデルのエディルブ132Vで、脊柱の模型をあてがうとぴったりとフィット。

背骨のS字とは?



上から前カーブ（頸椎7個）、後ろカーブ（胸椎12個）、前カーブ（腰椎5個）と、緩やかなS字を描き仙骨、尾骨につながる背骨の形状。前カーブと後ろカーブの骨の数が同じ比率の、バランスの取れた姿勢を保ちたい。

専門家が教える
腰痛に効く
シートの条件とは?背骨のS字に沿ったフォルム
骨盤アーチをサイドサポートで
引き締める

ボウリングの球ぐらいの重さ（約6～7kg）がある頭部を含めた上半身の重力をアーチ構造で支える骨盤。ここを横から引き締めると持ち上げる力が働き、背骨が軽くなる。背骨はきれいなS字を維持できるのが理想。ブリッドのシートは頸椎から腰椎まで背骨全体をカバーし、骨盤アーチの部分は腿部のサイドサポートで引き締める構造なので、猫背やフォワードヘッド（前方頭位）、反り腰といった姿勢の悪さに起因する腰痛を防いでくれる。

この人に伺いました



ルーツカイロプラクティック院長
西尾有貴さん

国内で少数のWHO（世界保健機構）ガイドラインに準拠した教育を修了し、確かな知識と技術を備えたカイロプラクターとして20年の実績がある。腰痛や首肩凝りなどの不調の原因を追求し、最適な施術でベストコンディションへと導く。

東京から疲れ知らずで
金沢城に到着!

●コーナーが続いてステアリングを頻りに切り返す場面では脇と肩の引き締め効果でスムーズな「ハンドルさばき」をアシスト。ペダル操作に対してはももが開くのを防ぐサイドサポートが効いて、体が偏りやすいコーナリング時でも微細なペダルコントロールが可能

IMPRESSION

ハイエースバン×
ユーロスターIIクルーズで
一般道を約900km
走って確かめてみた

試乗車はフルノーマルのハイエースバン・スーパーGLロング標準ボディ標準ルーフ（2WD・ガソリン）で、運転席と助手席をセミバケットシートのユーロスターIIクルーズ・グラデーションロゴBEに換装。東京～名古屋を一般道オンリーで寄り道しながら往復（往路は国道1→23号、復路は国道19号→20号）、総走行距離は約900kmに達した。

純正シートはヘッドレストが分割式でホールディング性を高めた形状にするなど、商用車としては奮った仕様だが、長距離走行には不向き。ユーロスターIIは座り始めこそタイトな印象だが、なじんでくると両脇ともも周りの包み込まれる感じが心地いい。純正とブリッドの違いをもっとも感じたのが、座面や腰周りのクッション。純正は時間の経過とともに尻と腰が痛くなってくるが、ブリッドは絶妙な厚みと硬さのウレタンフォームが体圧を分散し、体への負担を和らげてくれるのだ。

ウレタンフォームはエンジンとタイヤの真上に座るキャブオーバー車の構造上避けられない、路面からの入力やエンジンの振動がシートに伝わるのを抑え、疲労軽減に寄与する。

コーナリングで強い横GのかかるワインディングではユーロスターIIクルーズの本領発揮。張り出したショルダーともも周りをカバーするサイドサポートが体全体を支え、ハンドルとペダル操作を妨げない適切なポジションを意識せずに保てる。ゆえに、長距離運転の疲労軽減につながることを体感できた。

背骨のSラインと骨盤の構造を踏まえた腰に優しい座り方とシート位置は、猫背や前屈、反り腰にならないように座面に深く腰かけ、背もたれのリクライニング角度を95～100度程度に保つのが理想。ユーロスターIIクルーズの付いたハイエースバンで約900km走ってみたが、腰まわりのしびれや背中のだるさなどの症状が現れず、コーナリングで横Gがかかっても姿勢が乱されない。体の一部になったかのように自然にフィットする着座感で心地よく、いつまでもなるブリッドシートは、クルマ旅を快適にする最良のパートナーだ。



快適過ぎてどこまでも行ける!?

3時間・300km疲れ
ないブリッドシートは
クルマ旅と相性抜群

INFORMATION

●ブリッド ☎052-689-2611
[https://brideseats.com</](https://brideseats.com)